

令和4年度に指定管理期間が終了した施設の総括評価

南永江地区地域交流センター	P-1
北信濃ふるさとの森文化公園	P-3

指定管理者事業評価 総括評価調書

1 施設状況・事業収支

		調書作成年度		令和5年度		
施設名称	中野市南永江地区地域交流センター	所管部課		経済部農業振興課		
指定管理者	南永江自治会	作成者		関谷		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	利用料金		採用		
施設設置目的	地域材の啓発と利用拡大を図るほか、地域住民のコミュニティー活動の助長や交流の場として、地域交流センターを設置する。					
施設の概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室					
主な実施事業	貸館事業					
施設利用状況	利用区分等(単位)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	会議室利用者数(人)	2,838	2,046	1,092	782	1,121
	学習室利用者数(人)	317	400	149	123	97
	研修室利用者数(人)	100	152	17	22	30
	調理実習室利用者数(人)	24	105	0	0	0
委託料	指定管理料	0	0	0	0	0
市収入額 (使用料等)  (単位:円)	年度	収入	年度	収入	支出	収支
	平成30年度	0	平成30年度	0	288,974	-288,974
	令和元年度	0	令和元年度	-288,974	374,796	-663,770
	令和2年度	0	令和2年度	-663,770	248,188	-911,958
	令和3年度	0	令和3年度	239,355	239,355	0
	令和4年度	0	令和4年度	281,765	281,765	0
	合計	0	合計	-431,624	1,433,078	-1,864,702

2 年度評価

評価区分	評価内容	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	○		○		△		◎		◎	
	② 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○		○		—		○		○	
	③ 各種サービスの向上に繋がる方策を実施し、利用者の満足度が目標以上であったか。	○	A	○	A	○	C	△	B	○	B
	④ 利用者アンケートを実施し、回収件数が増加したか。	○		○		△		—		—	
	⑤ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○		○		—		—		×	
	⑥ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○		○		○		○		○	
(2)財務の視点	① 管理運営経費を指定管理料または利用料金収入以下に収めたか。	△		○		△		△		×	
	② 計画どおり収入が得られたか。	△		○		△		△		×	
	③ 計画に基づく適正な支出が行われたか。	○	B	○	A	◎	C	○	C	○	C
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○		○		—		—		○	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○		○		○		○		○	
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○		○		○		◎		○	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか。	○		○		○		○		○	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか。	○		○		△		○		○	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	A	○	A	○	B	○	A	○	B
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○		○		○		○		○	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○		○		○		○		○	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○		○		○		○		○	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○		○		○		○		○	
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○		○		○		○		○	
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○		○		○		○		○	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○	A	○	A	○	A	○	A	△	B
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○		○		○		○		○	
総合評価		B		A		C		C		C	

### 3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	元	利用料金は施設の特性上、区民は減免となっている。
	元	歳入のほとんどは南永江自治会からの繰り入れとなっている。
	元	今後は、区民以外の利用も促し、教養学習などの講座にも力を入れたい。
	2	施設の利用者数が前年度より増加するよう努めること。
	2	利用者アンケートを実施すること。
	2	管理運営経費を指定管理料または利用料金収入以下に収めること。
	2	計画どおり収入を得ること。
	2	毎月・年度等の業務の報告を遅滞なく行うこと。
	3	利用者アンケートを実施し、回収件数を増加すること。
	3	管理運営経費を指定管理料または利用料金収入以下に収めること。
	3	計画どおり収入を得ること。
	4	アンケートにより利用者ニーズを把握し、自主事業を実施してください。
	4	区民以外の者の利用が無いことから、利用料の収入がないため、区民以外の者に利用を呼び掛けてください。
	4	区民以外の者に利用を呼び掛けてください。
4	地域住民以外の者をターゲットとした利用促進策など、クリエイティブな発想をする区民を育成してください。	

### 4 総括評価及び所見

評価基準による総括評価	評価区分	評価	施設所管課長 所見
	(1)市民の視点	A	地域住民以外の者に利用されない状況が続いているが、南永江地域住民のコミュニティ活動や交流の場としては、適切な管理運営がなされている。
	(2)財務の視点	C	
	(3)業務の視点	B	
	(4)人材の視点	B	
<b>総括評価</b>	<b>C</b>		

#### ☆評価基準

総括評価【参考】	評価基準
S（優良）	B・Cがなく、Sが2つ以上の場合
A（良好）	B・Cがない場合
B（一部改善）	Cがなく、Bが1つ以上の場合
C（抜本的改善）	上記以外

### 5 選定委員会による総括評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。なお、評価基準による評価は行いません。

総括評価		委員会所見
	<b>C</b>	地域住民以外の者に利用されない状況が続いているが、南永江地域住民のコミュニティ活動や交流の場としては、適切な管理運営がなされている。

# 指定管理者事業評価 総括評価調書

## 1 施設状況・事業収支

		調書作成年度		令和5年度			
施設名称	北信濃ふるさとの森文化公園	所管部課		都市計画課			
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	作成者		小松 有希			
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	利用料金		指定管理料			
施設設置目的	地域住民の文化活動の充実と地域文化の向上を図るため						
施設の概要	温室・昆虫館、サマーボスレー、遊具、マレットゴルフ場、オートキャンプ場、多目的グラウンドほか						
主な実施事業	施設及び設備の維持管理業務、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	全施設使用者数(人)	38,310	35,495	19,608	26,002	25,622	
委託料	指定管理料	33,530,000	33,840,555	34,150,925	34,150,925	34,150,925	
市収入額 (使用料等)  (単位:円)	年度	収入	指定期間 事業収支  (単位:円)	年度	収入	支出	収支
	平成30年度	4,889,150		平成30年度	34,526,754	41,365,725	-6,838,971
	令和元年度	4,964,950		令和元年度	35,514,569	32,682,313	2,832,256
	令和2年度	3,688,200		令和2年度	37,834,691	32,026,020	5,808,671
	令和3年度	4,656,725		令和3年度	40,107,888	33,062,122	7,045,766
	令和4年度	4,567,300		令和4年度	42,251,140	33,980,723	8,270,417
	合計	22,766,325		合計	190,235,042	173,116,903	17,118,139

## 2 年度評価

評価区分	評価内容	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	△		△		△		◎		○	
	② 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○		○		○		○		○	
	③ 各種サービスの向上に繋がる方策を実施し、利用者の満足度が目標以上であったか。	○	B	○	B	○	B	○	A	○	B
	④ 利用者アンケートを実施し、回収件数が増加したか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○		○		○		○		○	
	⑥ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○		○		○		○		○	
(2)財務の視点	① 管理運営経費を指定管理料または利用料金収入以下に収めたか。	○		○		○		○		○	
	② 計画どおり収入が得られたか。	○		○		○		○		○	
	③ 計画に基づく適正な支出が行われたか。	○	A	○	A	○	A	○	A	○	B
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○		○		○		○		◎	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○		○		○		○		○	
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○		○		○		○		○	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか。	○		○		○		○		○	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか。	○		○		○		○		○	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	A	○	A	○	A	○	A	○	B
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○		○		○		○		○	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○		○		○		○		○	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○		○		○		○		○	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○		○		○		○		○	
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○		○		○		○		○	
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○		○		○		○		○	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○	A	○	A	○	A	○	A	○	B
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○		○		○		○		○	
総合評価		B		B		B		A		B	

### 3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	H30	施設のPR並びに魅力ある企画立案を求める。
	R元	施設のPR並びにイベント等の内容の見直しを検討し集客増加を求める。
	R2	多くのお客様に来館(場)していただけるよう積極的にPRを行うこと。また、イベント等の内容の見直しを検討し、集客に努めること。
	R3	—
R4	アフターコロナに向け、施設の広報・自主事業の充実等による集客を期待する。	

### 4 総括評価及び所見

評価基準による総括評価	評価区分	評価	施設所管課長 所見
	(1)市民の視点	B	平成30年度には3万8千人を超えた来園者数については、指定期間内に、新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制や外出意識の低下が見られたことから、令和2年度には2万人を下回り、大幅に減少する影響を受けた。 このような非常事態のなか、いつでも市民を受け入れる憩いの場として管理が行き届いていたこと、収支についても健全に運営できたことを評価し、全体総括とする。
	(2)財務の視点	B	
	(3)業務の視点	B	
	(4)人材の視点	B	
<b>総括評価</b>	<b>B</b>		

#### ☆評価基準

総括評価【参考】	評価基準
S (優良)	B・Cがなく、Sが2つ以上の場合
A (良好)	B・Cがない場合
B (一部改善)	Cがなく、Bが1つ以上の場合
C (抜本的改善)	上記以外

### 5 選定委員会による総括評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。なお、評価基準による評価は行いません。

<b>総括評価</b>	<b>B</b>	<b>委員会所見</b>	来園者数については、新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制や外出意識の低下が見られたことから大幅に減少する影響を受けた。非常事態のなか、市民の憩いの場として管理が行き届いていたこと、収支についても健全に運営できたことを評価し、全体総括とする。
-------------	----------	--------------	---